

R2年度アバター戦略推進事業施策について -アバター戦略推進事業-

施策1 アバター活用の実証事業

○県内各地の観光施設での遠隔体験アバター、人手不足の現場での遠隔就労アバターなどを開発、実証する経費を補助

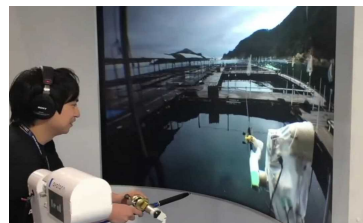
@30,000千円×1/2×4件=60,000千円

サービスの実証



観光サービスでの活用

ロボティクスの開発



釣り体験アバターの開発

プロジェクト事例（人手不足対策）

◆プロジェクト名：雇用柔軟性を創出するアバターロボットを活用したビル清掃サービスの開発実証

- 今後人手不足がますます深刻化することが予想されるメンテナンス業界において、アバターロボットを活用した新たなサービス創出や、人材の有効活用を目指す。
- 具体的には、清掃など施設メンテナンス業務ができるアバターを開発し、そのサービス化を図る。



アバターロボット「Ugo」を遠隔で操作し、ビルメンテナンス業務を提供（ビル内設備、エントランス、トイレ等の清掃、消耗品補充など）

アバター活用によるビルメンテナンスサービスの効率化

施策2 アバター産業創出塾

○大分県経済を牽引する新たな産業の創出のため、アバターに関する技術やサービスのあり方を学び、県外のアバター技術を持った企業と一緒にアバター製品やサービスの開発を目指す「アバター産業創出塾」を開催

現状・課題

- 一部の企業や個人のネットワークに頼ったマッチング
- アバターに興味を持つ県内企業は存在するが、事業化の具体的なイメージが湧かないため、動き出せない
- 大分県での実証に興味を持つ県外アバター関連企業が散見

企業の声

- ・アバターに関する技術やサービスのあり方を学びたい
- ・具体的な事業化のイメージが湧かない

アバター産業創出塾

構成		活動内容
塾生 (県内企業等)	アバター関連企業	◆セミナー、勉強会 ・アバター関連企業による講演やデモ展示等を実施 ◆実機体験（1ヶ月を想定） ・アバターの無償貸出し ◆塾生と関連企業のチームによるアイデアソン等の開催 ・アイデアソン アバター産業の創出に向けたアイデア出し ・ハッカソン ソフトウェア、サービス等の開発 合宿実施
○アバター製品やソフトウェアの開発に意欲のある企業 ○自社施設でのアバター活用に取り組みたい企業 ○アバター製品を用いた独自サービス、保守サービスに意欲のある企業	○県外のアバター関連の技術を保有する企業等 ・勉強会、セミナーなどの講師として招請 ・県内企業がアバタービジネスを創出する際のアドバイザー	

優良なプロジェクトには補助金による助成も